

白馬三山

メンバー：高木 Y

今年の夏は天候が悪く、計画を出すたびに悪天候で中止ばかりだ。

少し遅い夏休みを取って今年目標に掲げていた後立山縦走に向かったが中央道に入ると豪雨で既にやる気をなくしかけていた。

猿倉の駐車場は平日という事もあり空いていて仮眠を取った。

8月28日（木）曇り

朝起きると雨は降っていないがガスで真っ白である。

とりあえず白馬岳に登ってから今後の事を考えようと決めて出発する。



大雪渓はガスで周りが見えないので落石が怖かったが、気温も低かったせいか落石は見かけなかった。

6本爪の軽アイゼンを初めて使ったのだが（何年も前に購入はしていたが使う機会がなかった）うまく装着できずに歩くとすぐに外れてしまう。何度も付け直したりして時間と体力を消耗した。

初めて使う前に家で試す、という基本を無視するとこういう事になると反省した・・・



白馬岳山頂もガスの中。何度も白馬に来ているというベテランさんも「こんなに人がいない白馬は初めてだ」とおっしゃっていたほど人にあまり出会わなかった。

白馬山荘の小屋番さんの話ではここ3日悪天候でヘリが飛ばせず、食料の荷揚げが出来ていないそうだ。「今年は異常気象だ」と。

天気予報も午後から下り坂、明日以降の天候も悪化傾向の様子。



計画では初日は白馬三山縦走をして天狗山荘まで行く予定だったのだが、写真のように進む先の稜線もガスの中で何も見えない。

景色を楽しみながらの稜線歩きが好きな私にとってはただの苦行である。この時点で完全に心が折れて頂上宿舎にテントを張る事に決めた。

<タイム>

猿倉P(6:05)～(7:15)白馬尻小屋(7:23)～(11:45)白馬岳頂上宿舎～白馬岳～(13:30)頂上宿舎テント場

8月29日(金) 晴れのち曇り

朝起きるとガスで何も見えないので2度寝をする。午後から下り坂の天気を考えるとこの日の不帰キレット越えは諦めることにした。



朝7時頃に稜線がきれいに見え始めたのでとりあえず三山縦走に出かける。杓子岳も白馬鑓ヶ岳もきれいだ。



振り返ると昨日は見えていなかった白馬岳も見える。朝からへりも荷揚げに大忙しの様子。

・・・と、景色が楽しめたのは1時間程だけであとはガスの中を歩く事に・・・
それでも立山や劔岳も時折見えて満足であった。



猿倉と唐松岳の分岐まで来たがやはり先はガスの中。明日からの天気も悪いし、別に岩稜歩きが好きなわけではないし無理して先に進む気もなくなったので秘境の白馬 鱧温泉で1泊して下山することに変更する。



鱧温泉までに少しだけ鎖場もあり大げさなほどの注意看板があった。沢の水で濡れているので危ないということか？慎重に歩けば問題ない。

大出原のお花畑は時期が遅かったにも関わらず、さすがお花の山だなあというほどだった。次は花の季節に合わせて来たいと思う。

鱧温泉に着いて夕方から雨だと小屋番さんからの情報に、昨夜既に濡れているテントを再度濡らすのもバカらしいのでそのまま下山することに決めた。

せっかくなので無料の足湯だけ浸かってみたが硫黄の香りの強い温泉だった。



噂には聞いていたが、登山道・テント場・足湯から露天風呂が丸見えだ。見たくもないオヤジ達の裸を見るはめになりいい気分ではない（笑）

鐘温泉からはダラダラとしたトラバース道を下って猿倉Pへ着いた。

帰りの高速でも豪雨に見舞われ、消化不良の山行になってしまったが予想以上にお花が残っていて楽しめたのでよしとする。

<タイム>

頂上宿舎(6:50)～(8:00)杓子岳～(9:27)白馬鐘ヶ岳～(9:53)猿倉分岐～(11:25)白馬鐘温泉(11:50)～(15:15)P



